

平成23年9月11日
今週のベストショット



H23. 9. 11 雁レクE ブルーマーリンズ 対 塩浜ジャガーズ戦
最終回、一矢を報いたいブルーマーリンズ小柳訓敏選手。セーフならホームランだが・・・。
(写真：ソルトベ이스ターズ 田中裕次郎)

雁レクD

レッドサンデーズ	0000000	0	負投手：土師	HR：なし
三苦三球会	022100×	5	勝投手：吉留	HR：澤田

二回裏三球会は5番堺太一選手が相手のエラーで出塁し、6番洪田正勝選手のセンター前でチャンスを広げると、続く7番松永達彦選手のレフト前ヒットとレッドサンデーズのエラーで2点を先制する。四回裏にはこの日三安打の2番澤田剛選手のセンターオーバー本塁打などで2点を追加。投げて、三球会吉留隆之投手の巧みなピッチングが冴え、五回までレッドサンデーズを無安打。終わってみれば、レッドも1番折居広則選手が1本出すのがやっとの一安打無四球の完封で三球会が快勝した。

(記事：奈多フェニックス 今林文彦)



圧巻のピッチングを見せる三球会吉留隆久投手。
その安定感はリーグ1、2位を争う。



四回裏には、三球会打の主役・澤田剛選手の
ダメ押しソロHRが飛び出した。

雁レクE

ブルーマーリンズ 0 1 1 0 0 2 負投手：友重 HR：高田
塩浜ジャガーズ 1 5 1 4 1× 12 勝投手：内田 HR：堀内、立石

一回裏、ジャガーズは先頭小森俊亮選手がヒットで出塁、2つの盗塁と相手エラーにより1点を先制する。ブルーマーリンズも2回表、すかさず5番高橋巧善選手のヒットから7番濱崎健次選手の内野安打で1点を返し追いつくと、ジャガーズはその裏、まずは先頭打者堀内雅二選手の右中間を抜けるホームラン、さらに連打と4番立石高伸選手の左中間柵超えのホームランでこの回5点を奪う。その後もジャガーズは得点を重ね、ブルーマーリンズは三回に1点を返すもジャガーズ内田耕司投手をなかなか打ち崩せない。ジャガーズは5回にはブルーマーリンズ小柳訓敏選手の右中間を抜ける当りも見事な連携で本塁で刺すなど好プレーも飛び出し、ノリノリで五回コールド勝ちとなった。

(記事：ソルトベイスターズ 田中裕次郎)



二回表、ブルーマーリンズ高橋巧善選手がホームインし、同点に。



ブルーマーリンズ相手に力投するジャガーズ内田耕司投手。



捕れんか！？



華麗な守備を見せるジャガーズ小森俊亮三塁手



表紙の続き：ブルーマーリンズ1番小柳訓敏選手、激走の結果は・・・見事タッチアウト！残念！！



特大の柵越え弾を放ったジャガーズ立石高伸選手。

青松園A

新町ウインズ 20202 6 負投手：藤田 HR：桐島（司）

雁の巣ライナーズ 20222 8 勝投手：今林（貢） HR：久保田、濱崎

一回表ウインズ1番桐島司選手のセンターオーバーの特大エンタイトルツーベースで幕を開け、打撃戦の予感がするこの試合。その後、相手エラーと5番藤田征司選手のタイムリー二塁打でウインズが幸先良く2点を先制。一回裏ライナーズは、2アウトから4番宇野元康選手の三塁打と5番久保田哲也選手のタイムリー安打で2-2の同点に。3回表ウインズは、ライナーズの2つのエラーと犠飛で2点を勝ち越すが、3回裏ライナーズが、ランナーを2塁に置いて5番久保田哲也選手のライトオーバーの特大2点本塁打ですかさず4-4の同点に追いつく。さらに4回裏ライナーズは、この回から代わった藤田征司投手を攻め、ヒットと四球で2アウト2・3塁と逆転のチャンス。続く打者がショートゴロでチェンジと思いきやショートバウンドの送球を一塁手が前にはじく間に二者が生還し6-4と逆転に成功。5回表粘るウインズは、一番桐島司選手の本塁打の後、連打と四球で2アウト満塁から投手強襲安打で6-6の同点に追いつく。五回裏ライナーズは、走者を1塁に置いて六番濱崎和彦選手がセンターオーバーの勝ち越し2点本塁打で8-6と試合を決めた。2点取られてはその直後に2点を取り返す面白い試合展開であったが、最後はライナーズの長打力が試合を決めた。

（記事：奈多クラブ 今林康司）



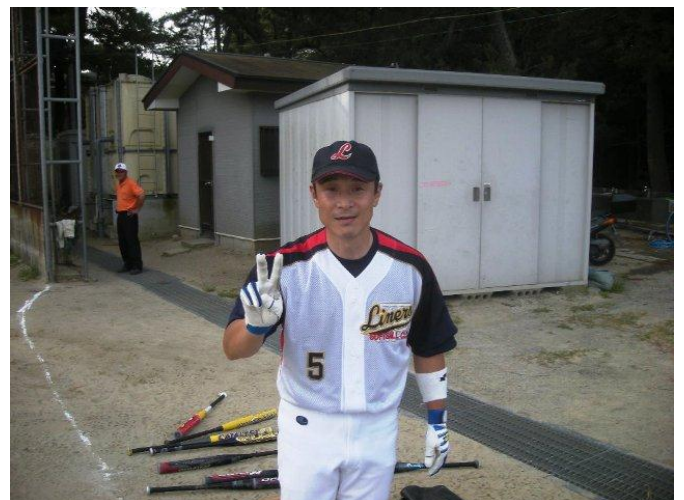
一回表、タイムリーを放つウインズ藤田征司選手。



三回裏、同点2ランのライナーズ久保田哲也選手。



五回表、一点差に迫るHRを放ったウインズ桐島司選手。



五回裏、同点から決勝の勝ち越し2ランを放ったライナーズ濱崎和彦選手のVサイン。

青松園B

三苦フレンズ	1 1 0 0 0	2	負投手：井上	HR：なし
奈多サンデーズ	3 2 1 3 3 ×	1 2	勝投手：江口	HR：田中（俊）木下

フレンズは初回、相手投手江口から2本の安打と四球で2死満塁のチャンス。6番二宮の打球はショートゴロも守備の乱れで1点を先制。二回にも無死一・三塁のチャンスを作り、1点を奪う。一方、サンデーズも初回、先頭打者の木下が出塁すると、2番荒口の安打および相手の守備の乱れで同点。3番田中（俊）の中堅越2点本塁打で逆転。その後は一方的にサンデーズが主導権を握り、四回からは投手首藤がしっかりと投げ13安打の12点を奪い快勝。フレンズは序盤、相手投手江口の球をしっかりとらえていただけに、1点ずつしか奪えなかったのが残念。サンデーズの田中（俊）は五回にも本塁打が出たが、コールド成立のため記録上は三塁打となりました。・・・残念ですね。

（記事：三友クラブ 山本健一）



初回、奈多サンデーズ田中（俊）選手が男らしい激走でホームイン。



鋭い当たりを放ったフレンズ溝ノ上隆之選手、必死に走るも・・・併殺打。



ホーム直前ちょっとセクシーにソフトタッチアウトな奈多サンデーズ首藤義史選手。



大きな飛球を捕った！と思いきや、落球。フレンズ外野手の皆さん、大変お疲れ様でした。

第16週編集後記

WSLの皆さん、こんにちは！

先週は降ったり止んだりの雨の影響で中止でしたが、今週は4試合が行われました。

青松園Aのウインズ対ライナーズ戦は2点ずつを取り合う好試合でした。ウインズ藤田投手から決勝2ランを放ったライナーズ濱崎和彦選手の控えめなVサインが印象的です。ライナーズ久保田哲也選手の一発も隣のBグラウンドでサードを守っていた私のすぐ横まで飛んできた大きなHRでした。ライナーズ8番国崎豪士選手は3打数3安打で勝利に貢献しています。ウインズの藤田投手はピッチングフォームをスリングショット風に変えていましたが、何故でしょうか？青松園Bのフレンズ対奈多サンデーズ戦は、初回到今シーズン被安打の多いサンデーズ江口投手の立ち上がりを攻めたフレンズが先制しましたが、その裏サンデーズは123番で逆転に成功。いつもは余裕でベースを回るサンデーズ3番田中俊弘選手のマジ走りを久しぶりに見ました。しかし、それ以降の打者はフレンズ井上投手の舌妙なピッチングで抑えられました。やはりフレンズは、打たせて取る井上投手のピッチングを支える守備陣の頑張りが求められますね。打ち損じを捕り損じては勝てません。奈多サンデーズの7番前田篤志選手は3打数3安打で、打率も5割を超えてきました。雁レクDのレッド対三球会は、またもや三球会吉留投手が非の打ち所のないピッチングを披露して、若手の多いレッドを完封しました。レッドも2005年のHR王・折居広則選手が1本出すのがやっと。三球会澤田選手は3打数3安打1HRの活躍を見せました。雁レクEのブルーマーリンズ対ジャガーズは内田耕司投手が先制を許すものの、味方の大量援護をもらって、今期初勝利。打っても17安打でコールド勝ち。ジャガーズ3番立石高伸選手はあとシングルヒットでサイクルヒット達成だったんですね。惜しい～！ジャガーズ9番稲富甚太選手も3打数3安打です。ブルーマーリンズ小柳選手は前回の満塁弾に続く2試合連続HRを寸前で阻止され、残念でした。

先攻、後攻とありますが、どちらが戦いやすいですか？

先に守ってリズムを作りたいというチームもあれば、先に点を取ってプレッシャーをかけたい、出来るだけ多く打席に立ちたいというチームもあると思います。

打撃の個人タイトルがかかる選手達は1打席でも多く打席に立ちたいのではないかと思います。まだ今シーズンHRを打ってない選手は、なんとか1本打ちたいですね。チームの方針を取るか、個人記録を取らせるか、リーグ終盤に来て、先攻後攻や打順に動きがみられるチームが増えてくると思います。